

日時：2026年1月11日（日）13：00～15：00

場所：Zoom・オンデマンドによるWEB開催

テーマ：『看護学生に国際的視野を育むとは：現場経験に根差した教育実践と越境する学び』

講師：広島大学大学院医系科学研究科国際保健看護学 教授 新福洋子 先生

申し込み者：17名

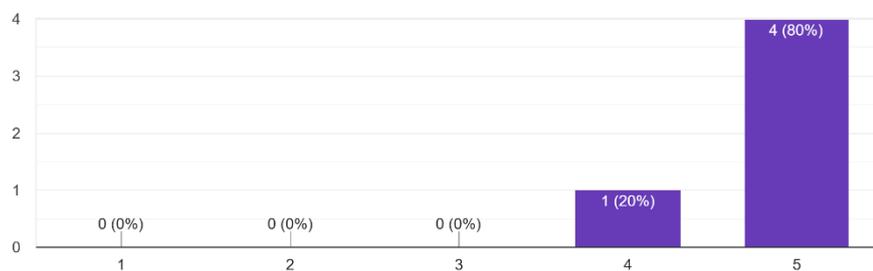
参加者：Zoom 6名 + オンデマンド

アンケート回答者：5名

【アンケート結果】

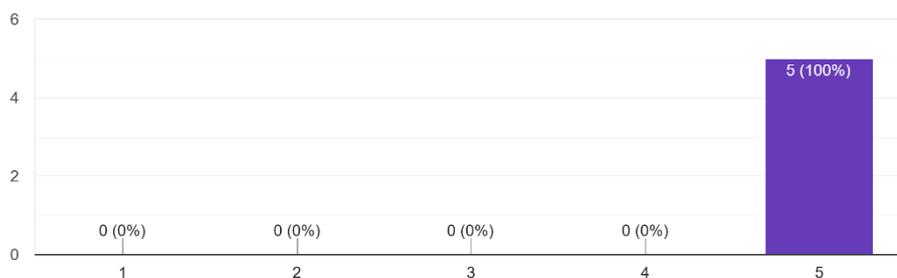
1. 講演テーマは適切でしたか？（5名の回答）

①非常に不適切 ～ ⑤非常に適切



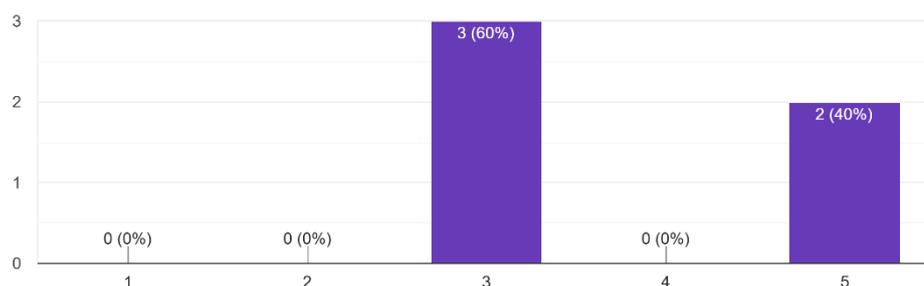
2. 講演の内容は満足いただけましたか？（5名の回答）

①非常に不満 ～ ⑤非常に満足



3. 内容に対する総時間は適切でしたか？（5件の回答）

①とても短い ～ ⑤とても長い



4. 進め方や情報量はいかがでしたか？（5件の回答）

（「講義と質疑のバランスがよかった」「詰め込み過ぎで消化できない」等）

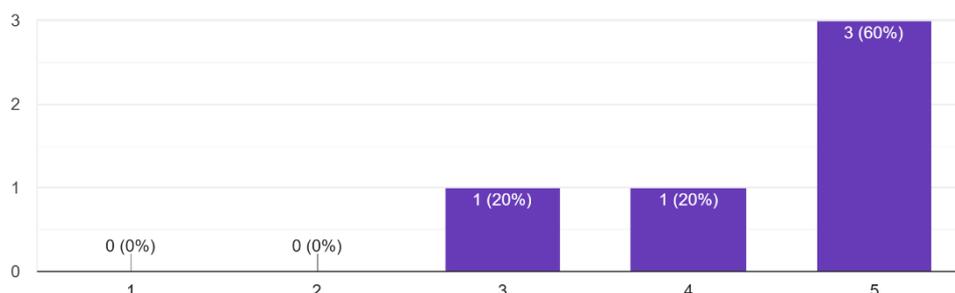
- 1) もっと聞きたかったです。
- 2) 短時間で良かったです。
- 3) 講義の情報量をもう少し減らして、質疑の時間に当てられたら、良かったのかなと思います。
- 4) 質問をしたかったのですが、時間的にお二人でちょうど良かったのだともいますが、追加の質問の確認もなく終わってしまったので少し残念でした。（チャットにあらかじめ残しておけば良かったと思うのですが・・・）リアルタイムで参加するメリットの1つだったので、消化不良として記載させていただきました。
- 5) 情報量は適切でした。オンデマンドだったので質疑応答がなかったのが残念です。

5. 全体を通して、学びとなったことはどのようなことですか？（5件の回答）

- 1) 新福先生のご経験を踏まて、国際看護学で伝えたいことなどが具体的でとても分かりやすかったです。
- 2) 貴重なご講義ありがとうございました。
- 3) グローバルに働く看護師の育成について。中でも、リーダーシップについて関心が深まりました。
- 4) 目指すことは知識ではなく、姿勢であるということ。
- 5) 国際的視野を持つことがどういうことかということが、理解し再認識できた。

6. 今回の研修の内容を活用できそうですか？（5件の回答）

①まったくそう思わない ～ ⑤まったくそう思う



7. どのように活用していこうと考えているか教えてください。（5件の回答）

- 1) 国際看護に興味をもってもらい導入の方法、知識を獲得するだけでなく、個々へ落とし込んでどう考え、想像していくか、そして実践へどうつなげるか参考に活用していきたい。
- 2) 留学生の受け入れ方法について。
- 3) これから行動する際の力になります。私はまだ学部生ですが、将来的にはエビデンスを作る側、教育者になれたらという考えが強まりました。
- 4) 自大学の科目の到達目標や授業設計、講義の方法や何を大事に伝えるか、等々さまざまなことに活用していきます！
- 5) 生徒がグローバルな世界に興味を持てるように、この講義からの学びを授業に活かしていきたい。

8. 現在、国際看護実践・研究であなた自身が悩まれていることは何ですか。(3件の回答)

- 1) 日本語が話せない留学生の受け入れ方法について。
1人では難しいので、どのように同僚の協力を得るか。
講義資料に英語と日本語を併記することも同僚に提案しましたが、負担のようなので、その場合、私が1人で全科目の講義資料の翻訳をしないとイケないのだろうかと思ひます。それはそれでかなり難しい気がします。
- 2) 臨床経験を積みつつ、どのように何を学んでいくか。どの段階で見切りをつけて海外に行くか。について少し考えますが、悩みではないです。
- 3) 自分自身の英語力(特に英会話の力)がなかなか上がらないこと。

9. 今後開催してほしい研修内容等のご要望はありますか。(3件の回答)

- 1) 日本語が話せない留学生に対する実際の具体的なサポート方法について。
AI翻訳も試してみましたがまだ十分ではなく難しい気がします。その場合、どのようなサポートすればよいのか。
- 2) NGOや外務省、WHO等で働いている女性からもっと話を聞ける機会があれば参加したいです。
- 3) 交流や意見交換が多めにできる研修を希望します。

10. 今後の研修会の開催方法について。(5件の回答)



11. 今後、一般社団法人日本国際看護学会研修会に関して、まだ知らない方に、より情報を伝えていきたいと思ひます。

ご記入を頂いたあなた様の声をHPなどに掲載させていただいてもよろしいでしょうか。(5件の回答)

